

ニ於ケル指定引渡ハ海水直煮製鹽副産鹽其ノ他特殊ノ事情アルモノノミトナリ僅ニ五百九十餘萬斤ニ下レリ

五五八

大正二年度	收		指定引渡	高		賠償金額
	納	計		納	計	
同三年度	一、〇四五、七四八、六一四斤	二〇、三五〇、四五九斤	一、〇六六、〇九九、〇七三斤	一、二三五、五六、三〇〇円	一、一九〇、四、一三三円	一、二四六、五六一円
同四年度	一、〇〇四、六四八、五二六	一、〇九二、二四六	一、〇〇七、六四六	九九五、一四二、七七四	一、〇三四、二〇二、七八二	一、四〇三、四五三円
同五年度	九八五、〇六五、七九五	一、〇二五、三一六、三六六	八、八八六、六一九	一、〇三四、七〇一、三〇八	一、〇〇四、七〇一、三〇八	一五、〇六七、七九一円
同六年度	九四九、九三四、三〇二	九九四、九三〇、〇六六	九、七六七、〇〇六	九八二、七六四、三四六	六七二、七六四、三四六	一四八、二六、〇二八円
同七年度	六六二、八五六、〇九五	七、五六六、八三〇	七、五六六、八三〇	九八一、五〇五、五〇四	九八一、五〇五、五〇四	三〇、〇八〇、一〇四円
同八年度	九九三、九三八、六七四	八九九、九二五、二七三	六、四一四、九六七	九〇六、三四〇、二四〇	九〇六、三四〇、二四〇	三三、四八四、〇三三円
同九年度	八五〇、九五三、二四六	七、二〇五、八九四	七、二〇五、八九四	八五八、一五九、一四〇	八五八、一五九、一四〇	二六、三七四、五三五円
同十年度	一、〇二一、八一、六〇八	五、九六五、三四三	五、九六五、三四三	一、一〇八、一四六、九五一	一、一〇八、一四六、九五一	三五、三七四、一四四円
同十一年度						

備考

法第三十四條ニ依ル收納監ヲ包含ス

第四章 鹽ノ輸移入

第一節 輸移入規程

内地ニ於ケル鹽ノ需要ハ内地鹽ノ補足トシテ殖民地鹽ヲ以テ之ニ充當ス其ノ輸移入ニ付テハ取扱人ヲ定メ所要ノ種類、數量ノ輸移入ヲ爲サシメ其ノ取扱ハ鹽收納賣渡事務取扱手續ニ依ル

鹽收納賣渡事務取扱手續(抄録) 明治四十二年四月
丁第二二六號達

第四章 輸入及移入

(鹽專賣史七〇八頁參看)

本邦駐劄外交官ノ輸入又ハ移入スル鹽ノ取扱ニ付テハ特例ヲ認メ自用煙草ト同一ニ取扱ヒ大公使又ハ大公使館宛ノモノハ專賣局ノ許可ヲ要セス通關スルコトトシ大公使館員宛ノモノニ在リテハ專賣局ノ許可ヲ經テ通關ヲ許スコトニ取扱ヘリ(明治四十三年十二月甲第三一五一號通牒)

輸入ノ受渡ニ在リテハ實量計量受渡手續アリ

臺灣鹽實量計量受渡手續(明治四十五年二月
甲第三二七號達)

第一條 臺灣鹽移入命令書關東州鹽輸入命令書第七條ニ依ル鹽ノ實量受渡方ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ
第二條 鹽ノ受渡ニ要スル器具ハ取扱人ヲシテ豫メ之ヲ準備セシムヘキモノトス其ノ品目大約左ノ如シ

一 鹽搬出用器 本船各船艙ヨリ散鹽ヲ搬出スヘキ箱又ハ桶(通常約千斤位ノ散鹽ヲ容レ得ヘキ容積程度ノモ)ニシテ本船ノ起重機ニ依リ之ヲ使用シ鹽ヲ艙口ヨリ搬出スヘキモノ

二 斗概 搬出用器ニ入實シタル鹽ノ上面ヲ用器ノ端ト均一ナラシメ鹽ノ入實量ヲ一定スル爲使用スヘキ定規形ノ板又ハ棒ニシテ其ノ長サハ搬出用器ノ口徑ヨリ若干大ナルモノ

三 船卸用流シ臺、流シ形ノ板ニシテ(長サ約七尺幅九尺前後)繩ヲ以テ本船々側ニ緊縛シ船側外ニ突出セシムル如ク設備シ搬出用器ヨリ鹽ヲ落下スル際鹽ノ受臺トナリテ散鹽ヲ船外ニ飛散スルコトナク船艙ニ收容シ得セシムルモノ

四 衡器 搬出用器ニ鹽ヲ充實シタルモノ(千五百斤位)ヲ秤量シ得ヘキ斤量單位ノ臺秤ニシテ正確感應ノ銳敏ナルモノ

五 天秤形鹽籃、鹽ヲ肩擔シテ運搬スル様、棒ノ兩端ニ繩ヲ以テ二箇ノ筵ヲ付セルモノニシテ筵ハ大小不同ナキ同形ノ約鹽百斤ヲ容レ得ヘキモノトシ取扱ノ便利上筵ノ外底部ヨリ別ニ一繩ヲ付シテ棒ノ兩端ニ結ヒ付ケ置キ鹽籃中ノ鹽ヲ出スニ際シテハ棒ヲ肩ニセル儘前記ノ一繩ヲ引上クレハ筵ハ轉覆シテ鹽ヲ落下セシム

六 踏木板、幅約一尺厚及長若干ノ木板ニシテ船艙ト陸地トノ交通ニ使用スル「歩ミ」及倉庫内收容鹽ノ上ヲ通行スル際等通路ト爲スヘキ板

鹽專賣 鹽ノ輸入 輸入規程

七 萬棒、普通長サ一尺位(竹ニアリテハ太サ徑約三四分位木板ニアリテハ厚サ二分位體六七分位)ナル同形ノ竹又ハ木板ニシテ其ノ數二百乃至四百ヲ一組トシ倉入、船卸數量調査ノ用ニ供スルモノナリ即チ一船卸又ハ一倉入毎ニ萬棒一本ヲ取扱人ヨリ吏員ニ手渡シ確實ニ其ノ員數ノ受渡ヲ認ムヘキモノ

八 スコップ(或ハヤフル)、散鹽ヲ搬出用器(箱又ハ桶筥)又ハ鹽籠等ニ掬ヒ込ムモノ

九 筥、莖其ノ他隨時必要ナル器具及材料

第三條 鹽到着シタルトキハ移輸入取扱人(以下略シテ單ニ取扱人ト稱ス)ヲシテ直ニ荷扱店名、船卸ヲ爲スヘキ船口數、船卸開始日時、本船碇泊豫

定期間ヲ口頭ニ申出テシメ鹽ノ計量受渡ニ要スル器具ヲ相當ノ場所ニ運搬セシムヘシ

第四條 關東州鹽ニ付テハ豫メ稅關ト協議ト上專賣官吏ノ承認ヲ受クルニ非サレハ其ノ鹽ノ船卸ニ著手セシメサルコトトシ臺灣

鹽ニ付テハ取扱人ニ對シ專賣官吏ノ承認ヲ受クルニ非サレハ其ノ鹽ノ船卸ニ著手スヘカラサル旨ヲ豫メ通達シ置キ鹽積載船到著シタルトキハ直ニ監視官吏ヲ派シ相當取締ヲ爲スヘシ

鹽ノ船卸ハ日出ヨリ日没迄トシ暴風又ハ雨天ノ際ハ鹽ノ船卸ヲ爲サシムヘカラス但シ微雨ノ爲船卸鹽ノ品質ヲ損傷スルコトナ

シト認ムル場合ニ於テハ鹽ノ船卸ヲ爲サシムヘシ

外國貿易船ニ依リ鹽ヲ移輸入シ一般ノ休日又ハ日没後船卸ヲ爲サムトスルモノニ對シテハ取扱專賣官署ノ承認ヲ受ケタル後更

ニ稅關ノ許可アルニアラサレハ鹽ノ船卸ヲ爲サシムヘカラス

第五條 鹽ノ船卸ヲ爲ス際ハ其ノ數量調査ノ爲鹽ノ船卸ヲ爲スヘキ各船輪毎ニ吏員一名以上ヲ配置シ其ノ數量ヲ調査セシメ適當

ノ時ニ於テ左ノ方法ニ依リ船卸鹽標準檢定ヲ爲スヘシ

一 散鹽

(イ) 各輪毎ニ毎日一回以上本船出張吏員ニ於テ取扱人又ハ引取人立會ノ上搬出容器ト共ニ一般出鹽ノ標準檢定ヲ爲スヘシ

(ロ) 標準檢定ハ各輪ニ於ケル搬出用器ノ異ル毎ニ各用器ニ適當ニ鹽ヲ入實シ斗概ヲ正確ニ使用シ甲板上ニ於テ各之ヲ秤量シ

更ニ各別ニ其ノ用器ノ風袋量ヲ秤量シテ之ヲ控除シ各用器ノ鹽斤量ヲ算定シ各用器ノ鹽斤量ヲ各輪毎ニ平均シテ當日其ノ

輪ヨリ搬出セル一搬出鹽標準檢定量トス

二 標準檢定鹽量ハ斤以下三位(斤、分、厘)ニ止メ其ノ未滿ヲ切捨ツルモノトス

三 起重機ニ故障アル本船ニ於テ其ノ搬出用器ヲ使用スル能ハサル場合ニ限り一定ノ小箆ヲ用ヒテ手取船卸ヲ爲サシムルコト

ヲ得此ノ場合ニ於テハ一小箆ノ入實鹽量ヲ五十斤ト爲サシムヘシ

倉庫ニ於テ受渡ヲ爲スヘキ鹽ノ船卸ニ限リ其ノ鹽ニ對シ完全ニ封印ヲ施シタル場合ニ於テハ船卸鹽標準檢定及船卸鹽數量調査

ヲ省略スルコトヲ得

第六條 一船艙ノ標準檢定鹽量ヲ其ノ艙ノ搬出度數ニ乘シ斤未滿ヲ切捨テ船卸鹽ノ數量トシ一ニ對スル船卸完了後ニ之ヲ計算スルモノトス但シ前條第二項ニ依リ船卸鹽標準檢定及船卸鹽數量調査ヲ省略シタルモノニ在リテハ其ノ艙船ニ對スル從來ノ經驗ニ基キ艙船積載鹽數量ヲ考査シ船卸鹽數量ヲ定ムヘキモノトス

第七條 艙船卸ノ際ハ取扱人及引取人ヲシテ船卸ノ場所ニ立會ヒ本船ニ出張セル吏員ト共ニ其ノ數量ヲ調査セシメ一々其ノ計算ヲ對照シテ符合ヲ確認セシム

第八條 艙船卸ノ際ハ取扱人ヲシテ搬出用器内ノ鹽量ヲ標準檢定鹽量ト等シカラシムル爲其ノ使用人夫ヲシテ正確ニ斗概ヲ使用スルコトヲ督勵セシムヘシ

特ニ必要ヲ認メタルトキハ斗概ヲ使用スル人夫ニ限り吏員ノ指定シタル者又ハ專賣局備人ヲシテ其ノ使用ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 散鹽船卸ノ場合ニ於テハ艙船内部ニ注意シ内部ノ汚穢(石炭ヲ積載シタル場合)シタルモノ又ハ孔竅缺裂ヲ存スルモノハ相當處理ヲ命ジ鹽ノ汚損及缺減ヲ防止セシムルヲ要ス

第十條 當日船卸ヲ完了セサルトキ又ハ船卸完了後ニ於テ他ノ地ニ移輸入スヘキ鹽ヲ積載シタル本船ニ對シテハ當日作業終了後各艙及艙内通路等ヲ封印スルモノトス但シ取締上差支ナシト認メタルモノニシテ本船々長ヨリ專賣官吏ノ立會アルニアラサレハ鹽ノ船卸ヲ爲ササル誓約書ヲ提出シタルモノハ封印ヲ施ササルコトヲ得

船卸完了後ニ於テ尙本船内ニ他ノ地ヘ移、輸入スヘキ鹽ヲ積載シタル本船ニ對シ封印ヲ施シ移、輸入地ニ向ケ出港スルモノニ對シテハ第一號書式ニ依リ之ヲ當該專賣官署ニ通知スヘシ本通知ハ同船船長ヲシテ之ヲ送致セシムルヲ妨ケス

前項ノ通知ハ必要ヲ認ムルトキハ之ヲ電報スヘシ其ノ電報ハ一般電信符號ノ外第二號表ニ依リ特殊ノ符號ヲ用ウルコトヲ得

第十一條 標準檢定及船卸鹽搬出度數等ハ第三號書式甲鹽船卸票原符ニ記入スヘシ但シ第五條第二項ニ依リ船卸鹽標準檢定及船卸鹽數量調査ヲ省略シタル場合ニ於テハ第三號書式甲備考欄ニ其ノ旨ヲ明記シ第六條但書ニ依リ認定シタル鹽ノ數量ヲ船卸斤數欄ニ記入スヘシ

第十二條 一艙船ノ鹽船卸完了シタルトキハ第三號書式甲ニ依リ船卸鹽數量ヲ調査シ之ヲ同書式ニ記入シ同表ニ依リ第三號書式乙鹽船卸及受渡票中ノ船卸欄ニ相當記入シ立會ヒタル取扱人ニ示シ取扱人ニ於テ相違ナキヲ認メタルトキハ同書式甲及乙ニ其

ノ認印ヲ徵シ乙號ヲ取扱人ニ交付シ其ノ艙船船夫ヲシテ艙船力受渡倉庫ニ到著スル迄其ノ鹽ト共ニ之ヲ所持セシムヘシ

第十三條 受渡ヲ終ラサル船卸鹽ヲ積載シタル艙船ハ前項ニ依リ乙號書式ヲ交付ヲ受ケタル後ニアラサレハ本船ヲ離レシム可カ

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

ラス

第十四條 受渡ヲ終ラサル船卸鹽ヲ積載セル舢舨ノ航行通路ハ取締上ノ危險ヲ防止シ得ル程度ニ於テ豫メ之ヲ調査シ取扱人ニ指定スヘシ

第十五條 受渡ヲ終ラサル船卸鹽ヲ積載セル舢舨ニ對シ必要ヲ認メタルトキハ之ニ封印ヲ施スヘシ

前項ニ依リ封印ヲ施シタルトキハ施封ノ日時、施封場所、封印點數、封印ニ使用シタル印章等必要事項ヲ第三號書式甲及乙備考欄ニ記入スヘシ

第十六條 船卸鹽ヲ積載セル舢舨カ本船ヲ離レ當日中ニ受渡場所ニ到着スルコト能ハス航行通路ノ途中ニ碇泊スルモノニ付テハ取扱人ヲシテ其ノ舢舨名、碇泊場所及封印ノ有無等取締上必要ナル事項ヲ届出テシメ十分ナル取締ヲ加フヘシ

前項ノ取締ニ付テハ豫メ税關又ハ警察官署ト協議シ其ノ援助ヲ受クルコトヲ得

第五條第二項ニ依リ船卸鹽標準檢定及船卸數量調査ヲ省略シタル舢舨中當日鹽ノ受渡ヲ終ラサル舢舨アルトキハ必ス一箇所ニ集聚シ舷側互ニ連繫碇泊セシムルヲ要ス

第十七條 船卸鹽ヲ積載セル舢舨カ指定場所ニ到着シタルトキハ直ニ第三號書式乙ヲ專賣支局員ニ提出セシメ積載鹽又ハ封印ノ検査ヲ受ケシムヘシ

前項ノ検査ハ第三號書式乙ニ對照シテ之ヲ行フヘシ其ノ異狀ナキヲ認メタルトキハ受渡ヲ爲スヘキ倉庫ニ其ノ鹽ヲ倉入セシムヘシ

第十八條 倉庫内ニ於ケル鹽ノ受渡ハ左ノ方法ニ依ル

一 散鹽

(イ) 散鹽ノ倉入ハ天秤形鹽籠ヲ以テ鹽ヲ肩擔シ一回ニ鹽百斤宛ヲ倉庫ニ搬入セシメ萬棒ヲ以テ倉入數量ヲ調査シ受渡數量トシ指定ノ場所ニ堆積セシムヘシ

(ロ) 倉庫内ニハ倉入鹽運搬通路ノ右側ニ臺秤ヲ設備シ其ノ臺上ニ板(幅一尺位、長六尺位、厚サ若干、モノ)ヲ置キ板ノ重量ト鹽籠及紐ノ平均重量(使用スヘキ鹽籠全部ノ平均)ト受入鹽ノ重量百斤トヲ加ヘタル斤量ニ依リ臺秤ノ錘ヲ秤上ニ定著セシメ置キ倉入鹽運搬通過ノ際鹽籠ヲ臺秤上ノ板ニ置カシメ秤ノ水準ニ達スル迄鹽籠中ノ鹽ヲ加減シ鹽ノ重量ヲ百斤ト爲スヘシ前記鹽籠ノ平均重量ハ其ノ濕潤ノ度加ハルニ從ヒ増加スヘキニ依リ適當ノ時ニ於テ其ノ重量ノ檢定ヲ爲スヲ要ス

二 汚損鹽及掃寄鹽

(イ) 臺灣上等鹽ノ汚損シタルモノニシテ臺灣竝等鹽ニ相當スルモノ又ハ上等、竝等ノ混和シタルモノニシテ上等鹽ト認ムルコ

ト能ハサルモノハ竝等鹽トシテ實量ニ依リ受入ヲ爲スヘキモノトス

(ロ) 海水又ハ雨水等ニ依リ濕潤シ又ハ鹽ノ品質ヲ損傷シタルモノ及掃寄鹽ハ別ニ區分シテ假倉入ヲ爲サシメ船卸鹽全部ノ倉入ヲ了リタル後ニ於テ其ノ實量ヲ調査シ購買價格以下ニ於テ相當ト認ムル價格ニ依リ其ノ受入ヲ爲スヘキモノトス

第十九條 前條第一號及第二號(イ)ニ依リ受入鹽ノ數量ハ一船船毎ニ鹽ノ種類ニ依リ之ヲ計算シ斤位未滿ヲ切捨テ受入數量トス

第二十條 第十八條及第十九條ニ依リ受入鹽ノ事蹟ハ第三號書式乙ニ記入シテ之ヲ取扱人ニ示シ取扱人ニ於テ其ノ相違ナキヲ認メタルトキハ同書式中所定欄ニ其ノ認印ヲ爲サシムヘシ

第二十一條 鹽倉入ノ爲運搬ニ使用シタル船船ニ對シテハ其ノ船船ノ運搬作業完了後直ニ船内ヲ検査シ残留鹽又ハ船底ニ澹溜スル鹽水ニ注意シ不取締ナキ様措置スルヲ要ス

第二十二條 命令書第七條ニ依ル本船又ハ船船内ニ於テ鹽ノ受渡ヲ爲スハ其ノ場所ニ於テ直ニ其ノ鹽ヲ買受ケ引取ル者アル場合ニ限ルモノトス

前項ニ依リ受渡場所ハ左ノ通トス

一 本船甲板

二 本船船側ニ繋留スル船船内

第二十三條 本船又ハ船船ニ於テ鹽ノ受渡ヲ爲サムトスルトキハ豫メ取扱人及引取人ニ其ノ日時、鹽計量ノ方法等必要事項ヲ通知シ引取人ヲシテ船船ノ配給又ハ引取方等十分ノ準備ヲ爲サシムヘシ

第二十四條 第二十二條ノ受渡場所ニ於テ鹽ノ受渡ヲ爲ストキハ第五條乃至第七條ニ依リ船卸鹽調査數量ヲ以テ受入數量及賣渡數量トス但シ第五條ノ標準檢定ハ午前午後各一回以上施行スヘキモノトス

前項ニ依リ受入レタル鹽ヲ其ノ受渡場所ニ於テ直ニ賣渡シタル場合ハ第三號書式乙受渡欄ヲ抹消シ備考欄ニ其ノ買受人氏名及其ノ月日竝賣渡ヲ爲シタルモノナル旨ヲ記入シ引取人ニ交付シ同表甲ニ同一事項ヲ記入シ同表ニ依リ第四號書式ノ集計表ヲ作成スヘシ

第二十五條 第三號書式乙ハ毎日受渡場所毎ニ之ヲ編綴集計シ第四號書式ニ依リ集計表ヲ作成スヘシ集計表ヲ作成シタルトキハ直ニ各船船中鹽ノ缺減多量ナル船船ニ對シ更ニ其ノ事實ヲ調査シ時宜ニ依リテハ該船船ヲシテ次回ノ鹽運搬ニ從事セシメサルコトヲ得

第二十五條ノ二 第十九條ニ依リ受入鹽ノ種類別數量及第二十四條ニ依リ受入鹽ノ種類別數量ハ毎日種類別ニ合算シテ當日ニ於ケル受入鹽ノ種類、數量ヲ定ムヘキモノトス

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

第二十六條 各取扱官署ニ於テ受渡スヘキ鹽全部ノ受入ヲ終リタルトキハ直ニ第五號書式ニ依リ臺灣鹽取扱專賣官署ニ通知スヘシ
 第二十七條 臺灣竝等散鹽ヲ「アルカリ」「工業用鹽」トシテ受入レタルトキハ直ニ第六號書式ニ依リ臺灣專賣局ニ通知スヘシ
 第二十八條 關東州鹽ノ輸入ニ在リテハ其ノ受渡終了後直ニ其ノ輸入船名、輸入月日、輸入受渡鹽數量及稅關ノ交付ニ係ル輸入免狀番號及其ノ月日等ヲ關係稅關ニ通知シ關稅統計ト專賣統計ト一致スル様豫メ相當打合ヲ爲シ置クヲ要ス
 第二十九條 鹽ノ受渡ヲ終リタルトキハ第七號書式ニ依リ直ニ其ノ事蹟ヲ本局ニ報告スヘシ
 移輸入鹽受渡ノ事務ヲ取扱フ出張所ニ於ケル前項ノ報告ハ支局ヲ經由セス直接本局ニ提出スヘシ第五條第二項ニ依リ船卸鹽標準檢定及船卸鹽數量調査ヲ省略シタルトキハ別ニ其ノ狀況及事蹟ヲ本局ニ報告スヘシ
 第一號書式

「何々」鹽船卸成績及封印通知書

何支局(又ハ何支局)
何出張所

年 月 日

何支局(又ハ何支局)
何出張所)宛

- 一 移入船名
- 二 取扱人
- 三 船卸鹽數量及封印筒數

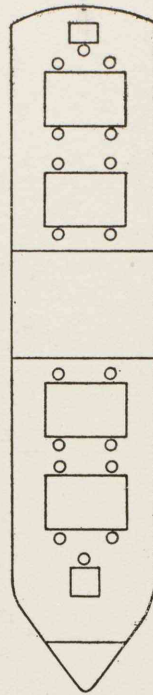
何々丸
何々某

計	船口番號	當地船卸鹽斤數		本船殘存鹽斤數		封印筒數
		上	等	上	等	
	一、					
	二、					
	三、					
	四、					

備考

- 四 本船當地出港ノ日時
- 五 封印ヲ施シタル見取圖及封印ニ使用ノ印影

月 日 午前 時



封印ニ使用シタル印影

參考欄(本欄ニ左ノ事項等ヲ記載スルヲ要ス)

- (イ) 既ニ賣渡ヲ爲シタルモノヲ積合セタルモノノ有無等
- (ロ) 中間寄港地ノ有無等

第二號表

特殊電信符號

- 一 本符合ハ臺關鹽ノ移輸入取扱ヲ爲ス專賣官署間ニ於テ移輸入鹽取扱事務ニ關スル電信ノミニ限り使用スヘキモノトス
- 二 電信符號ヲ左ノ通トス

タ .
ニ .
ト .
ム .
ア .
セ .

臺灣鹽業株式會社
 大日本鹽業株式會社
 東洋製鹽株式會社
 村井市孝
 輪移入取扱人名

鹽專賣 鹽ノ輪移入 輪移入規程

船積現在鹽數量

シ
フ
ケ
ラ
イ
チ
メ
ホ

出港
總封印筒數
船積現在鹽數量
船卸鹽調查數量
賣渡書又ハ記載
船積證明書
中間寄港地
命令書第
本條

發信例

大日本鹽業株式會社

船名

鹿港丸

本日出港

總封印數

ニ、
一八
中間寄港地

ナシ



正 性印
西 本港寄港地、日期

鹿港丸

○印ハ機印、ホ、シ、

何々鹽船卸原符										
番	號	第 1 5 號			本 船 名			乾 坤 丸		
艙 口 番 號	第 3 番 艙 口			舩 船 名			W. 12			
船 卸 著 手 時	2 月 27 日 午前 10 時			舩 船 々 夫 名			某			
船 卸 終 了 時	2 月 27 日 午前 12 時			船卸ヲ爲シタル 取 扱 人 調 印			Ⓑ			
本 日 票 交 付 時	2 月 27 日 午後 1 時			船卸ヲ調査シ タル 吏 員 捺 印			Ⓐ Ⓒ			
船 卸 斤 數	25.249 斤			標 準 量			828.56 斤 851.66			
鹽 搬 出 度 數	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
			///							
	$13 \times 828.56 = 10,771.28$ $17 \times 851.66 = \frac{14478.22}{25.247}$									
船 卸 標 準 檢 定	桶 番 號	風 袋 共 量		風 袋 量		差 引 斤 數		摘 要		
	1	1.049		181		868				
	2	1.042		195		847				
	3	1.016		176		840				
	4									
	5									
	平均					851.66				
備 考	二月二十七日午後五時鹽運搬取締ノ爲本舩船ニ封印ヲ封ス 封印二箇所封印 12 點 Ⓒ									

鹽專賣

鹽ノ輸移入

輸移入規程

五六七

契印 Ⓐ

前回檢定ノ實蹟ヲ示シタルモノナリ

契印 Ⓑ

「何々」鹽船卸及受渡票集計表

何々鹽船卸及受渡票				
船	番 號	第 1 5 號	船 名	乾 坤 丸
	艙口番號	第3號艙口	舢 船 名	W. 12
	船卸著手時	2月 27日 午前 10時	舢船々夫名	某
	船卸終了時	2月 27日 午前 12時	船卸ヲ爲シタル取扱人調印	ⓑ
卸	本日票交付時	2月 27日 午前 1時	船卸ヲ調査シタル吏員捺印	Ⓐ Ⓒ
	船卸鹽斤	25.249 斤	標準定 量	828斤 56 851斤 66
	受渡シタル鹽斤數	24.912 斤	受渡ヲ爲シタル倉庫名	第2號倉庫
受	差引増減	337 斤	船卸高ニ對スル差引増減合	0割1分3厘
	取扱人印	Ⓓ 秤量吏員	倉入調査吏員	⓪ 鑑定吏員
	主任	⓪ 調査	課長	長
	摘 要	2月27日受入 受渡斤數ノ外掃寄鹽 125斤第3號倉庫へ假倉入ス		
備 考	二月二十七日午後五時 鹽運搬取扱ノ爲本舢船ニ封印ヲ施ス			
	封印二箇所 封印十二點 Ⓒ 上記検査異狀ナシ Ⓔ			

事	項	高	上	等	鹽	並	等	鹽	計
證明書記	載								
船卸鹽調查數	量	(倉入ニ對スル分)							
倉庫内受入數	量								
差引	量	(運搬中ノ缺減數)							
船卸鹽調查數量ニ對スル運搬缺減ノ割合									

四 本船又ハ舩船ニ於テ受入タルモノノ數量 何斤

五 汚損鹽及掃寄鹽受入數量

事	項	數	量
(イ) 上等鹽汚損シテ並等鹽トナリタルモノ			
(ロ) 上等鹽並等混和シ並等鹽トナリタルモノ			
(ハ) 海水雨水ニ依ル濕潤鹽			
(ニ) 其ノ他鹽ノ品質ヲ損傷シタルモノ			
(ホ) 掃寄鹽			
計			

第三號ノ船卸鹽一萬斤ニ對スル割合

六 亡失鹽數量

備考

第三號中ノ船卸鹽調查數量ハ倉庫ニ庫入セル分ニ對スルモノノミヲ掲クヘキモノトス
 第五號(ハ)ホハ第三號中ヨリ控除シ計算スヘシ

第六號書式

アルカリ工業用竝等鹽散鹽受入通知書
 年 月 日

臺灣總督府專賣局長宛

アルカリ工業用臺灣竝等散鹽左記ノ通移入取扱人ヨリ受入濟ニ付此段及通知候也
 左記

何支局長(又ハ何支局
 何出張所長)

一 竝等散鹽

二 受入月日

三 積載移入船名

四 積載移入船入港年月日

備考

(イ) 臺灣出港ノ際同船積載ノ竝等散鹽總數量
 (ロ) 當地ニ移入シタル竝等一般用途鹽數量

第七號書式

番號

「何々」鹽受渡報告書

受	船	年	月	日	何	支	局(何支局 何出張所)
渡	卸	著手	明	治	汽	船	何々丸
終了	終了	〃	〃	〃	取	扱	何
〃	〃	〃	〃	〃	人	〃	某
〃	〃	〃	〃	〃			
〃	〃	〃	〃	〃			

鹽專賣 鹽ノ輪移入 輪移入規程

事	項	上	等	竝	等	摘	要
證明書ニ依ル輸入斤數							
船卸鹽調査總數量							
本船又ハ舩船内賣渡用途別數量							
倉庫内受入數量							
受入數量小計							
運搬中ノ缺減數量(舩船ニ對スル分)							
船卸鹽調査數量ニ對スル運搬缺減數量ノ割合							

備考

運搬中ノ缺減算定方ハ倉庫内受入鹽ノ船卸數量ニ對スル分ヲ掲上ス缺減ノ割合算定亦同シ

事	項	鹽	斤	數	受入	賣渡又ハ見込	船卸一萬斤ニ對スル各種鹽割合	摘	要
汚損上等鹽ヲ竝等鹽トシテ受入レタルモノ									
上等竝等鹽ノ混合シタルモノヲ竝等鹽トシテ受入レタルモノ									
海水雨水ニ依ル濕潤鹽ヲ受入レタルモノ									
其ノ他特殊ノ事由ニ依リ鹽ノ品質ヲ損傷シタルモノヲ受入レタルモノ									
掃寄鹽									
計									

亡	臺灣ニ於ケルモノ	項	鹽斤數	事	由
失	本船航海中ニ生シタルモノ				
鹽	船卸後受入前ノ間ニ生シタルモノ				

第一日	船	卸	倉庫	内受	渡	備	考
	操作時間						
第二日							
第三日							
第四日							
計							

輸入鹽ノ精製粗製ノ區別ハ百分ノ九十以上ノ鹽化曹達ヲ含有シ純白ニシテ粉末狀ヲ爲シ又ハ粉末狀ヲ爲ササルモ精製行爲ヲ加ヘタリト認ムルモノヲ精製鹽トシ之ニ該當セサルモノヲ粗製鹽トスルコトニ取扱方ヲ一定セリ(明治四十五年四月甲第九四九號通牒)

英獨鹽又ハ關東州鹽以外ノ產鹽ニ在リテハ輸入取扱人ノ定ナキヲ以テ醫藥用鹽化曹達又ハ僅少ノ見本鹽ヲ外國ヨリ送致又ハ携帶セルモノニシテ其ノ鹽ノ輸入賣渡ヲ希望スル者アリタル場合ニ在リテハ特別ノ取扱ヲ爲スコトトシ其ノ事由、鹽產地、仕出地、到著地、名宛人、仕出人、輸入方法、鹽ノ品質、種類、斤數、仕入價格、運賃、購買及賣渡價格ヲ調査稟

鹽專賣 鹽ノ輸入 輸移入規程

申セシメ事狀ニ應ジ輸入ヲ許可セリ(大正二年三月甲第五六六號通牒)
其ノ他左記ノ鹽ニ在リテハ何レモ實情ヲ酌量シ輸移入手續ヲ準用セリ(明治四十三年四月甲第八九〇號通牒)

- 一 遠洋漁業者カ關東州ニテ魚類鹽藏用鹽ヲ積載シ遠洋又ハ外國漁場ニテ鹽藏用ニ使用シ其ノ鹽藏物ヲ内地ニ陸揚セムトスルトキ其ノ殘存鹽ハ輸入手續ニ依ルコト
- 一 輸入ノ命ヲ受ケサル鹽ヲ外國ニ注文シ開港内ニ於テ買受ケ外國貿易船ニ船積シ之ヲ外國ニ積戻シ外國漁場ニテ鹽藏用ニ使用シ鹽藏物ヲ内地ニ陸揚セムトスルトキ其ノ殘存鹽ハ輸入手續ニ依ルコト
- 一 外國輸出鹽又ハ臺灣ヨリ直接輸出シタル鹽ヲ外國若ハ外國漁場ニ於テ鹽藏用ニ使用シ藏物ヲ内地ニ陸揚セムトスルトキ其ノ殘存鹽ハ輸入手續ニ依ルコト

- 一 外國輸出鹽ヲ内地ニ積戻リタルトキ其ノ積戻鹽ハ輸入手續ニ依ルコト
- 一 法不施行地移出鹽ヲ以テ邦領樺太若ハ其ノ沿海漁場ニ於テ鹽藏用ニ使用シ其ノ鹽藏物ヲ内地ニ陸揚スルニ際シ其ノ殘存鹽ハ移入手續ニ依ルコト
- 一 法不施行地移出鹽ヲ内地ニ積戻リタルトキ其ノ積戻鹽ハ移入手續ニ依ルコト
- 一 注文ニ依ラスシテ在外商人ヨリ鹽ヲ輸送シ來リタルモノアルトキ其ノ鹽ハ見本ノ如キ少量ナルトキハ辨償シテ輸入手續ニ準シ受入ヲ爲シ多量ナルトキハ荷主又ハ荷受人ヲシテ同種鹽ノ輸入取扱人ニ交渉セシメ輸入取扱人ヲシテ輸入手續ヲ爲サシムルコト

輸移入手務ニ付取扱細則ヲ定メ實量計量ニ關スル手續等ハ總テ細則中ニ規定シ大正三年四月一日ヨリ施行シタリ

甲第一三三三號長官達(大正三年三月二十六日)

臺關鹽移輸入事務取扱細則

- 第一條 臺灣鹽ノ移入及關東州鹽ノ輸入事務ハ鹽收納賣渡事務取扱手續ニ依ルノ外本細則ニ依リ取扱フヘシ
- 第二條 移輸入命令書ニ依リ移輸入取扱人ヨリ本局ニ提出スヘキ移輸入地別移輸入豫定申告書ハ移輸入取扱人營業所本店所在地所轄專賣支局ヲ經由セシムヘシ其ノ變更申告ノ場合亦同シ
- 第三條 鹽ノ船卸ハ臺灣總督府專賣局又ハ關東都督府民政署ヨリ發給スル鹽賣渡書又ハ鹽船積證明書ニ記載シタル數量ヲ標準トシテ之ヲ爲スヘシ

移輸入鹽積載船カ前項書類ノ交付ヲ受クルノ暇ナク出航シタル場合ハ臺灣總督府專賣局又ハ關東都督府民政署ヨリ電報シ來リタル鹽船積數量ヲ標準トシテ船卸ヲ爲スヘシ

第四條 鹽ノ受渡ハ左記方法ニ依リ之ヲ行フヘシ

一 本船受渡ノモノ

一定ノ搬出用器ニテ搬出セシメ其ノ搬出總度數ニ標準斤量ヲ乘シ之ヲ算定ス

標準斤量ハ一日一回船艙毎ニ用ヒタル各用器ニ鹽ヲ入實シ斗概ヲ正確ニ使用シ之ヲ秤量シテ各船艙毎ニ平均シテ之ヲ定ム

二 倉庫受入ノモノ

船卸鹽ノ數量調査ハ之ヲ省略シ一定量ヲ指定ノ場所ニ肩擔搬入セシメ其ノ搬入總度數ニ標準斤量ヲ乘シ之ヲ算定ス

三 前號倉入ヲ爲ス場合ニ於テ舢舨ノ積載シタル鹽ニ付不取締ト認ムル場合ニ在リテハ本船受渡ノモノト同シク船卸鹽ノ數量ヲ調査スヘシ但シ標準斤量調査ハ之ヲ省略スルモ妨ナシ

四 倉入ヲ爲ス場合ニ於テ傳票使用ヲ便トスル箇所ニ在リテハ第一號書式ノ鹽船卸傳票ヲ使用シ第二號書式ニ據リ集計ヲ爲ス

ヘシ

第五條 移輸入命令ノ鹽受渡場所ハ倉庫内又ハ政府ノ都合ニ依リ船内ト定メアレトモ成ルヘク本船受渡ヲ爲サシムルコトニ努ム

ヘシ

第六條 他ノ地ニ移輸入スヘキ鹽ヲ一船舶ニ積載シ來リタルモノニシテ其ノ地ニ移輸入スヘキモノノ船卸ヲ了シタルトキハ第三號書式ニ據リ其ノ事蹟等ヲ次ニ移輸入スヘキ地ノ專賣官署ニ通知スヘシ但シ本通知ハ同船長ヲシテ送致セシムルモ妨ナシ

第七條 鹽ノ受渡ヲ了シタルトキハ第四號書式ニ據リ直ニ本局ニ報告スヘシ

臺灣鹽ヲ「アルカリ」工業用又ハ移輸出用トシテ賣渡シタルトキハ其ノ本船受渡鹽ナルト倉入鹽ナルトヲ問ハス第五號書式ニ據

第八條 一旦普通用鹽トシテ受入レタル臺灣鹽ヲ更ニ「アルカリ」工業用又ハ移輸出用トシテ賣渡シタルトキハ其ノ鹽ノ購買價格ト普通用鹽ノ購買價格トノ差額ヲ速ニ返納セシメ雜收入トシテ整理スヘシ

第九條 受入鹽ニシテ倉庫ニ貯藏スヘキモノハ移輸入取扱人別ニ區分シ拂出度數、拂出數量、貯藏期間等ヲ調査シ置キ第六號書式ニ據リ一ケ年度分ヲ翌年四月十五日迄ニ本局ニ報告スヘシ

第十條 汚損、濕潤鹽ハ左記方法ニ依リ受渡ヲ爲スヘシ

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

一 汚損鹽

(イ) 上等鹽汚損シ其ノ色相並等鹽ト同一程度ニ下リタリト認ムルモノハ並等鹽トシテ受入ルヘシ

(ロ) 上等並等鹽汚損シ並等鹽以下ニ下リタリト認メタルモノハ總テ掃寄鹽トシテ相當購買價格ヲ決定スヘシ

二 濕潤鹽

(イ) 左記ノ水分限度以上ノ水分ヲ含有スルモノヲ濕潤鹽トス

上等 一四％
 中等 一二％
 臺灣鹽 一〇％

關東州鹽 各等

(ロ) 濕潤鹽ハ水分限度超過量一％又ハ其ノ端數每ニ其ノ購買價格百分ノ一ヲ低減シテ購買價格ヲ定ム

(ハ) 前項ノ水分限度ハ各船輪每ニ其ノ地ニ移輸入スヘキ鹽ニ付テ之ヲ檢定ス

第十一條 移輸入鹽ノ移輸入實蹟ハ毎月之ヲ局報ニ登載周知セシムヘキニ依リ之ヲ移輸入命令數量ニ對照シ命令數量ヲ超過スル

コトナキ様注意スヘシ

第十二條 移輸入ノ取扱ヲ爲シタル專賣官署ハ移輸入ノ都度各等鹽ノ中庸ト認ムヘキモノ約一斤ヲ採取シ本局ニ送付スヘシ

第十三條 移輸入取扱人ニ於テ移輸入命令ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリタル場合ニ於テ損害賠償金ノ徵收ヲ必要トスルトキ

ハ當該支局長ヨリ精細其ノ事由ヲ稟申スヘシ

第十四條 移輸入取扱人ヨリ移輸入地ニ於ケル代理人ヲ申告シタルトキハ其ノ關係專賣官署ニ通知スヘシ代理人變更、解除ノ場合

亦同シ

第十五條 移輸入取扱人ニ於テ年度末ニ至リ鹽ノ引取ヲ爲ササル場合ハ速ニ過怠金徵收ノ手續ヲ爲シ鹽ノ數量、金額等ヲ本局ニ報

告スヘシ

第十六條 政府ノ賣渡ヲ爲スヘキ一回ノ數量及移輸入取扱人ノ引取ルヘキ一日ノ數量ハ左記ノ制限以上ニ於テ適宜之ヲ定メ移輸入

取扱人ニ通知スヘシ

一 門司、神戸、半田、横濱ニ於テハ一回ノ賣渡數量十萬斤其ノ引取ルヘキ一日ノ數量五萬斤

二 前號以外ノ地ニ在リテハ一回ノ賣渡數量六萬斤其ノ引取ルヘキ一日ノ數量三萬斤

特別定價ヲ以テ賣渡ス鹽ニ付テハ前各號ノ制限ヲ適用セス

第十七條 在庫鹽ノ賣渡ハ第四條第二號ノ場合ト同一方法ニ依リ數量ヲ調査スヘシ但シ移輸入取扱人ニ於テ倉入當時ノ數量ニ依

リ買受ヲ承諾シタル場合ニ於テハ其ノ數量調査ヲ省略スルモ妨ナシ

第十八條 濕潤鹽受入後品質上進シタルトキハ現在ノ品質ニ依リ賣渡ヲ爲スヘシ

濕潤鹽受入後原品質ニ復歸セサルモノ及掃寄鹽ノ賣渡價格ハ竝等鹽ノ購買價格ト其ノ鹽ノ購買價格トノ差額ヲ告示ニ定メタル竝等鹽ノ賣渡價格ヨリ控除シテ之ヲ定ムヘシ

第十九條 「アルカリ」工業用鹽ノ賣渡ヲ爲ス專賣官署ハ第七號書式ニ據ル報告表ヲ調製シ毎月分ヲ翌月五日迄ニ本局ニ報告スヘシ

第二十條 移輸入事務ヲ取扱フ出張所ヨリ本細則ノ報告ヲ爲ス場合ハ直接本局ヘ報告スルト同時ニ其ノ謄本ヲ所轄專賣支局ニ提出スヘシ

第二十一條 鹽ノ受渡ニ際シテハ專賣取締親程ニ從ヒ適宜ノ監視ヲ爲スヘキハ勿論左記各項ニ付テハ特ニ注意シ尙陸揚ヲ終ラサル鹽ヲ積込タル本船又ハ舢船ニ對シ不取締ト認メタルトキハ相當封印ヲ施スモ妨ナシ但シ他ノ地ニ移輸入スヘキ鹽ヲ積載シタル本船ニ對シ封印ヲ爲シタルトキハ第三號書式第五項ニ封印ノ箇所等ヲ記載スヘシ

一 鹽產地ニ於ケル鹽船積ノ狀況

二 本船寄港地ノ積込貨物及其ノ積卸地

三 臺灣總督府專賣局又ハ關東都督府民政署ヨリ通知事項アルトキハ其ノ事項トノ對照

四 航海中ニ於ケル積載鹽損害ノ有無

第一號書式

「何」鹽船卸停票		月	日
番	號	第	號
船	口	第	號
搬	出	度	度
倉	入	度	度
船卸數量ニ對スル受入數量ノ増減		斤	斤
		増	減
		歩	合
		名	量
		名	量
		第	號
		第	號
		斤	斤

鹽專賣 鹽ノ輪移入 輪移入規程

備考	船	収容倉庫名	第 號	船 卸 調 査 員	受 入 調 査 員

備考

船卸鹽數量調査ヲ爲シタルトキハ其ノ旨備考ニ記載ノコト

第二號書式

傳票番號	船卸月日	船卸數量	受入數量	第「何」番船艙分		備考
				「何々」鹽船卸及受入集計表	「何」等鹽(濕潤鹽、掃寄鹽)	
				船卸斤數ト受入斤數トノ比較増減	船卸高ニ對スル上欄斤數ノ割合	
計						

移入船名「何々丸」

備考

一 本表ハ鹽ノ種類別及船卸船艙別ニ調査スヘシ

第三號書式

「何々」鹽船卸事蹟通知書

年 月 日

何支局(又ハ何支局出張所)宛

一 移輸入取扱人氏名

二 積載船名

三 船卸事蹟

何支局(又ハ何支局出張所)

當地へ移輸入スヘキ鹽ノ證明斤數

計	上等		竝等		計		倉入	本船渡	區分	番號	船	卸	備考	
	計	同	同	同	同	同								
	同													
	同													
	同													
	同													
	同													
	同													
	同													
	同													
	同													
	同													
	同													

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

證明高ニ對スル差引増減割合

汚損及掃寄鹽		事		項		斤		數		購買價格	
掃	寄	鹽	失	亡	事	由	鹽ノ種別	斤	數	斤	數
汚損上等鹽ヲ竝等鹽トシテ受 入レタルモノ	上等、竝等鹽ノ混合シタルモノ ヲ竝等トシテ受入レタルモノ	海水又ハ雨水ニ依リ濕潤シタル モノヲ受入レタルモノ	其ノ他特殊ノ事由ニ依リ鹽ノ 品質ヲ損傷シタルモノヲ受入 レタルモノ	臺灣ニ於ケルモノ 本船航海中ニ生シタル モノ	船卸後受入前ノ間ニ 生シタルモノ						

備考

- 一 兩月ニ互リ受渡タルモノハ月毎ニ區分記入各通ヲ提出スヘシ
- 二 汚損及掃寄鹽ノ記載ハ受入鹽欄ニ記載シタル數量ヲ更ニ細記スルモノトス

第五號書式 「アルカリ」工業用(移輸出用)鹽受渡通知書

臺灣總督府專賣局長宛	年	月	日	何支局長(又ハ何支局 何出張所長)
左記ノ鹽何用トシテ賣渡候ニ付此段及御通知候也				
一 鹽ノ品質及數量				
二 本船渡又ハ倉入ノ區分				
三 受入及賣渡月日				
四 移入船名及地名				
五 其ノ他必要ト認ムル事項				

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

第六號書式

「何」年度鹽貯藏狀況報告

年 月 日

何支局(又ハ何支局何出張所)

五八二

計	臺關鹽ノ別	受入總數量		拂出	缺減數量	貯藏		一日一萬斤當缺減量	備考
		總度數	總數量			日數	延數量		

備考

- 一 年度末ニ至リ拂出未濟鹽アルトキハ其ノ數量ハ拂出トシテ計算シ缺減數量ヲ定ムヘシ
- 二 一日一萬斤當缺減量算出方ハ貯藏延數量ヲ日數ニテ除シ其ノ商ヲ以テ更ニ缺減數量ヲ除ス

第七號書式

「何」月分「アルカリ」工業用鹽供給高報告

年 月 日

何支局(又ハ何支局何出張所)

計	供給鹽ノ移輸入ヲ取扱ヒタル者ノ氏名	前月末日ニ於ケル「アルカリ」工業々者手持見込數量	本月供給數量	合 計	本月使用數量	翌月へ持越數量

備考

移輸入取扱人員毎ニ區分シ難キ事項ハ合計ニテ記載スヘシ

(明治四十五年三月甲第三二七號達廢止)

收納賣渡事務取扱手續ヲ改正シ大正三年四月十日ヨリ施行シタリシモ取扱上別ニ變更スル處ナシ

甲第二三五號長官達(大正三年四月四日)

(第二章第一節參看)

臺灣鹽ノ輸移入ハ實量ヲ計量シタリシモ產地官廳ノ發給スル鹽ノ賣渡書又ハ鹽船積證明書ヲ以テ確認シ得ヘキヲ以テ同書面記載高ニ依リ單ニ調査ニ止ムルコトニ改メ收納賣渡事務取扱手續中改正ヲ加ヘタリ

甲第一四〇號長官達(大正五年一月二十四日)

(第二章第一節參看)

臺灣鹽ノ内地ニ於ケル受渡ハ臺灣總督府專賣局又ハ關東都督府民政署ヨリ發給スル鹽賣渡書又ハ鹽船積證明書ニ記載シタル數量ニ依ルコトトナシタルヲ以テ臺灣總督府專賣局及關東都督府民政署ニ交渉シ輸移入鹽ノ積込ヲ嚴ニシ流亡失等の確ヲ計リ補足量ヲ鹽百斤ニ付臺灣鹽ハ十五斤(二割五分)關東州鹽ハ八斤(八分)ト爲シ臺灣鹽移輸入及賣渡事務取扱細則ヲ左ノ通り改定シ大正五年二月一日ヨリ實行シタリ

甲第一四一號長官達(大正五年一月二十四日)

臺灣鹽移輸入及賣渡事務取扱細則別紙ノ通相定メ大正五年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正三年三月二十六日達甲第一三三三號臺灣鹽移輸入事務取扱細則ハ本細則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ大正五年一月三十一日以前ニ受入レタル臺灣鹽ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

臺灣鹽移輸入及賣渡事務取扱細則

第一條 臺灣鹽及關東州鹽ノ移輸入及賣渡事務ハ鹽收納賣渡事務取扱手續ニ依ルノ外本細則ニ依リ取扱フヘシ
第二條 移輸入及賣渡命令書ニ依リ移輸入取扱人ヨリ年度内移輸入地別移輸入豫定數量ノ申告アリタルトキハ本局ヨリ關係專賣支局(其ノ數量ヲ通知スヘシ其ノ變更申告アリタルトキ亦同シ)

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

第三條 臺灣鹽ノ受入ハ本船受入ナルト倉庫受入ナルトヲ問ハス凡テ臺灣總督府專賣局又ハ關東都督府民政署ヨリ發給スル鹽賣渡書又ハ鹽船積證明書ニ記載シタル數量ニ依リ之ヲ爲スヘシ但シ移輸入鹽積載船カ鹽賣渡書又ハ鹽船積證明書ノ交付ヲ受クルノ暇ナク出航シタル場合ハ臺灣總督府專賣局又ハ關東都督府民政署ヨリ電報シ來リタル鹽船積數量ニ依リ之ヲ爲スヘシ移入臺灣鹽ニシテ臺灣ニ於テ本船積込前不可抗力其ノ他正當ノ事由ニ依リ流失鹽ヲ生シ臺灣總督府專賣局ノ證明アルモノハ其ノ數量ヲ前項ノ鹽賣渡書又ハ鹽船積證明書記載數量ヨリ控除シタルモノヲ以テ移入數量ト爲スヘシ

前二項ニ依リ受入レタル鹽ヲ倉入ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ受入ヲ異ニスル毎ニ區分貯藏スヘシ

第四條 移輸入取扱人ニ於テ過積ヲ爲ス等不正行ヲ爲セル疑アル場合其ノ他必要アリト認ムル場合ハ實量計量ノ上鹽ノ受入ヲ爲スコトヲ得

前項ニ依リ實量計量ノ上鹽ノ倉入ヲ爲ス場合ニ於テ數箇所ニ分割貯藏シタルトキハ各區劃毎ノ貯藏數量ハ之ヲ明ニシ置クヘシ

第五條 臺灣鹽ノ賣渡ハ本船渡ヲ原則トス但シ相當事由アリト認メタル場合ニ限り部分船渡又ハ全部倉入ヲ爲スコトヲ得

前項倉入ヲ爲シタル場合ニ於テ一回ニ倉入ヲ爲シタルモノハ移輸入取扱人ヲシテ成ルヘク一回ニ買受引取ヲ爲サシムヘシ但シ第四條第二項ニ依リ倉入ヲ爲シタルモノヲ各貯藏區劃分毎ニ分割賣渡ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 第三條及第四條ニ依リ受入レタル鹽ヲ移輸入取扱人ニ賣渡ヲ爲ス場合ハ受入數量ヲ以テ賣渡數量ト爲スヘシ但シ特ニ必要アリト認ムル場合ハ實量計量ノ上賣渡ヲ爲スヘシ

第三條又ハ第四條ニ依リ受入レタル鹽ハ數回ニ分割シテ移輸入取扱人ニ賣渡ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ順次實量計量ノ上引渡ヲ爲シ最後ノ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テハ受入當時ノ數量ヨリ拂出數量ヲ差引キタル數量ヲ以テ賣渡數量ト爲スヘシ

第七條 移輸入及賣渡命令書ニ依リ政府ヨリ直接需要者ニ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ買受人ノ承諾アリタルトキハ受入當時ノ數量ニ依リ賣渡ヲ爲スコトヲ得

第八條 第三條又ハ第四條ニ依リ受入レタル鹽ノ一部ヲ政府ヨリ直接需要者ニ賣渡ヲ爲ス場合ハ移輸入取扱人ヲシテ立會セシムヘシ

前項ニ依リ賣渡シタル殘鹽ハ第六條第二項ニ準シ移輸入取扱人ニ賣渡ヲ爲スヘシ

第九條 鹽ノ實量計量ヲ爲ス場合ハ左記ノ方法ニ依リ之ヲ行フヘシ

一 本船受渡ノモノ

一定ノ容器ニテ搬出セシメ其ノ搬出總度數ニ標準斤量ヲ乘シ其ノ數量ヲ算定スヘシ

標準斤量ハ一日一回船艙毎ニ用ヒタル各容器ニ鹽ヲ入實シ斗概ヲ正確ニ使用シ之ヲ秤量シテ各船艙毎ニ平均シテ之ヲ定ムヘシ
二 倉入竝倉出ノモノ

一定ノ容器ニテ指定ノ場所ニ肩擔運搬セシメ其ノ運搬總度數ニ標準斤量ヲ乘シ其ノ數量ヲ算定スヘシ
標準斤量ハ運搬中適當ノ時機ニ於テ各人ノ肩擔量ヲ數回秤量シ平均シテ之ヲ定ムヘシ

三 前號倉入ヲ爲ス場合ニ於テ船艙ニ積載シタル鹽ニ付不取締ナリト認ムル場合ニ在リテハ本船受渡ノモノト同一ノ方法ニテ船卸鹽ノ數量ヲ調査スヘシ但シ標準斤量調査ハ之ヲ省略スルモ妨ナシ

四 倉入ヲ爲ス場合ニ於テ傳票使用ヲ便トスル箇所ニ在リテハ第一號書式ノ鹽船卸傳票ヲ使用シ第二號書式ニ依リ集計スヘシ
五 包裝鹽ノ數量算定ハ左記方法ニ依ルヘシ

(イ) 各包裝數量甚シク不同ナリト認ムル場合ハ各包裝鹽全部ヲ計量ノ上其ノ數量ヲ算定スヘシ
(ロ) 各包裝數量略々均一ナリト認ムル場合ハ百ニ付三ノ割合(三十以上ニ上ルトキハ三十止ム)ヲ以テ適宜包裝鹽ヲ摘出秤量シ其ノ數量ヨリ風袋量ヲ控除シタル平均量目ヲ全包裝數ニ乘シ其ノ數量ヲ算定スヘシ

第十條 他ノ地ニ移輸入スヘキ鹽ヲ一船舶ニ積載シ來リタルモノニシテ其ノ地ニ移輸入スヘキ鹽ノ船卸ヲ了シタルトキハ第三號書式ニ據リ直ニ其ノ事蹟ヲ次ニ移輸入スヘキ地ノ專賣官署ニ通知スヘシ但シ本通知ハ同船長ヲシテ送致セシムルモ妨ナシ

第十一條 移輸入鹽ノ受入ヲ了シタルトキハ第四號書式ニ據リ直ニ本局ニ報告スルト共ニ種類、等級ノ異ナル毎ニ中庸ト認ムヘキ鹽約一斤ヲ採取シ本局ニ送付スヘシ

第十二條 臺灣鹽ヲ「アルカリ」工業用又ハ輸移出用トシテ賣渡シタルトキハ其ノ本船受渡鹽ナルト倉入鹽ナルトヲ問ハス直ニ第五號書式ニ依リ臺灣總督府專賣局ニ通知スルト同時ニ倉入鹽ニ對シテハ同號書式ニ準シ本局ニ報告スヘシ

第十三條 一旦普通用鹽トシテ受入レタル臺灣鹽ヲ更ニ「アルカリ」工業用又ハ輸移出用トシテ賣渡シタルトキハ其ノ鹽ノ購買價額ト「アルカリ」工業用又ハ輸移出用鹽トシテノ購買價額トノ差額ヲ速ニ移輸入取扱人ヨリ政府ニ返納セシメ雜收入トシテ整理スヘシ

第十四條 汚損、濕潤鹽ハ左記ノ方法ニ依リ受渡ヲ爲スヘシ
一 汚損鹽

(イ) 上等鹽又ハ上等粉碎鹽カ汚損シ其ノ色相竝等鹽又ハ竝等粉碎鹽ト同一程度ニ下リタリト認ムルモノハ竝等鹽又ハ竝等粉碎鹽トシテ受入ヲ爲スヘシ
(ロ) 上等鹽、竝等鹽、粉碎鹽又ハ再製鹽カ汚損シ竝等鹽、竝等粉碎鹽又ハ再製鹽標本以下ニ下リタリト認ムルモノハ等外鹽、等

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程 五八五

外粉碎鹽、粗惡再製鹽又ハ掃寄鹽トシテ受入レ相當購買價格ヲ決定スヘシ
二 濕潤鹽

(イ) 左記水分限度以上ノ水分ヲ含有スルモノハ濕潤鹽トシテ受入ヲ爲スヘシ

臺灣鹽 上等 一四%
竝等 一二%

關東州鹽 一〇%

(ロ) 水分ノ程度ハ各船舶毎ニ檢定シ水分限度超過量一%又ハ其ノ端數毎ニ其ノ購買價格百分ノ一ヲ低減シテ購買價格ヲ決定スヘシ

濕潤鹽受入後品質上進シ原品質ニ復歸シタルモノノ賣渡價格ハ現在ノ品質ニ依リ決定シ實量計量ノ上賣渡ヲナスヘシ

濕潤鹽ニシテ前項ニ該當セサルモノ、等外鹽、等外粉碎鹽又ハ粗惡再製鹽ノ賣渡價格ハ其ノ鹽ノ購買價格ニ竝等鹽、竝等粉碎鹽又ハ再製鹽ノ收入率ヲ加算シ決定スヘシ

掃寄鹽ノ賣渡價格ハ其ノ鹽ノ購買價格ニ竝等鹽ノ收入率ヲ加算シ決定スヘシ

前三項ノ鹽ニシテ輸移出用又ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ用途ニ使用スルモノハ其ノ鹽ノ購買價格ニ相當スル金額ニテ賣渡スヘシ

第十五條 政府ヨリ移輸入取扱人ニ賣渡ヲ爲スヘキ一回ノ數量及輸移入取扱人ノ引取ルヘキ一日ノ數量ハ左記ノ制限以上ニ於テ適宜之ヲ定メ豫メ移輸入取扱人ニ通知スヘシ

一 門司、神戸、半田、横濱ニ於テハ一回ノ賣渡數量十萬斤、其ノ引取ルヘキ一日ノ數量五萬斤

二 前號以外ノ地ニ在リテハ一回ノ賣渡數量六萬斤、其ノ引取ルヘキ一日ノ數量三萬斤

特別定價ヲ以テ賣渡ヲ爲ス鹽ニ付テハ前項各號ノ制限ヲ適用セス

第十六條 臺關鹽ノ移輸入實蹟ハ毎月之ヲ局報ニ登載周知セシムヘキニ依リ之ヲ移輸入命令數量ニ對照シ命令數量ヲ超過スルコトナキ様注意スヘシ

第十七條 移輸入取扱人ニ於テ移輸入及賣渡命令ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリタル場合ニ於テ損害賠償金ノ徵收ヲ必要トスルトキハ當該支局長ヨリ精細其ノ事由ヲ具シ稟申スヘシ

第十八條 移輸入及賣渡命令書ニ依リ移輸入取扱人ヨリ移輸入地ニ於ケル代理人ノ申告アリタルトキ又ハ賠償金及過怠金ノ保證トシテ現金又ハ國債證券ノ提供アリタルトキハ當該專賣官署ハ直ニ本局及關係專賣支局へ通報スヘシ其ノ變更又ハ解除アリタ

ルトキ亦同シ

第十九條 移輸入取扱人ニ於テ年度末迄ニ移輸入鹽ノ全部ヲ引取ルヘキ見込ナキ場合ハ速ニ當該支局長ヨリ詳細事由ヲ具シ其ノ鹽ノ種類及數量ヲ本局ニ報告スヘシ

輸移入取扱人ニ於テ年度末ニ至ルモ尙鹽ノ引取ヲ爲サカリシ場合其ノ鹽ノ引取ヲ爲シタルトキハ速ニ過怠金徴收ノ手續ヲ爲シ其ノ鹽ノ種類、數量、引取遅延日數及過怠金徴收金額等ヲ當該支局長ヨリ本局ニ報告スヘシ

第二十條 「アルカリ」工業用鹽ノ賣渡ヲ爲ス專賣官署ハ第六號書式ニ據ル報告書ヲ調製シ毎月分ヲ翌月五日迄ニ本局ニ報告スヘシ

第二十一條 移輸入事務ヲ取扱フ出張所ヨリ直接本局ヘ本細則ノ報告ヲ爲ス場合ハ同時ニ其ノ謄本ヲ所轄專賣支局ニ提出スヘシ
第二十二條 鹽ノ受渡ニ際シテハ專賣取締規定ニ從ヒ適宜ノ監視ヲ爲スヘキハ勿論左記各項ニ付テハ特ニ注意シ尙陸揚ヲ終ラサル鹽ヲ積込ミタル本船又ハ艀船ニ對シ不取締ト認メタルトキハ相當封印ヲ施スモ妨ナシ但シ他ノ地ニ移輸入スヘキ鹽ヲ積載シタル本船ニ對シ封印ヲ爲シタルトキハ第三號書式第五、船卸ニ付テ特ニ注意スヘキ事項欄ニ封印ノ箇所等ヲ記載スヘシ

- 一 鹽産地ニ於ケル鹽船積ノ狀況
- 二 本船寄港地、積込品貨物及其ノ積卸地
- 三 臺灣總督府專賣局又ハ關東都督府民政署ヨリ通知事項アルトキハ其ノ事項トノ對照
- 四 航海中ニ於ケル積載鹽損害ノ有無
- 五 移輸入積載鹽賣渡書又ハ鹽船積證明書ノ記載數量ニ對シ異狀ノ有無

第一號書式

「何々」鹽船卸傳票		號		本		名		月		日	
船	口	番	號	號	號	船	船	名	號	號	丸
搬	出	度	數	度	度	船	卸	量	度	度	斤
倉	入	度	數	度	度	受	入	量	度	度	斤

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

備考	船卸数量ニ對スル受入數量ノ増減	收容倉庫名	第 號	船 卸 調 査 員	斤 増 減		歩 合	
					受 入	調 査 員	受 入	調 査 員

備考

船卸鹽數量調査ヲ爲シタルトキハ其ノ旨備考ニ記載スヘシ
第二號書式

傳番番號	船卸月日	船卸數量	受入數量	第一何番船給分		備考
				船卸斤數ト受入斤數トノ比較増減	船卸高ニ對スル上欄斤數ノ割合	
		斤	斤	斤	斤	
計						

輸入船名「何々丸」

「何々」鹽船卸及受入集計表

「何」等鹽(又ハ上等粉碎鹽、再製鹽等)

考

備考

一 本表ハ鹽ノ種類別及船卸船艙別ニ調査スヘシ

第三號書式

「何々」鹽船卸事績通知書

年 月 日

何支局(何支局何出張所)宛

一 移輸入取扱人氏名

二 積載船名

三 船卸事績

何支局(何支局何出張所)

計	其他	竝等	上等	當地(移輸入スヘキ鹽ノ證明斤數)				當 地	船 卸	備 考
				船艙番號	區	本 船 入	倉 入			
計	四	三	二	一	當 地					
					區	本 船 入	倉 入	分 上 等 竝 等 其 他	計	斤
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
計										

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

四 本船當地出港ノ日時
 五 船卸ニ付テ特ニ注意ヲ要スル事項

備考

一 倉入鹽ノ船卸數量ハ鹽賣渡書又ハ鹽船積證明書ノ記載數量ヲ標準トシ之ヲ記入シ船卸鹽ノ調査ヲ爲シタルモノハ其ノ旨備考ニ記載スルモノトス
 二 其ノ他欄ニハ上等粉碎鹽、竝等粉碎鹽、再製鹽、掃寄鹽等ノ種類別ニ區分シ其ノ數量ヲ記載スヘシ

「何々」鹽受入報告書

年 月 日

何支局(何支局
何出張所)

入 受			分 區		受 入 終 了 大 正 年 月 日	移 入 地	次ニ移輸入スヘキ地	移 入 汽 船 名
總 鹽 入 受		輸 移	受 入	船 卸 著 手 大 正 年 月 日				
アルカリ工業用	普 通 用	入 鹽 證 明 書 記 載 斤 數	上 等	移 入	輸 入 取 扱 人	斤	斤	斤
			竝 等	移 入				
本 船 渡	倉 入	本 船 渡	其 他	計	摘	斤	斤	斤
				要				

備考	汚損潤濕鹽其ノ他					鹽		證明高ニ對スル差引増減割合	證明高差引増減	對受入高	證明高	數	斤	輸移出用同
	掃寄鹽	異等級又ハ異種類ノ鹽ヲ混合セルモノノ受入	濕潤鹽受入	汚損鹽受入	事	原品質等級	受入鹽品質等級							
備考	亡					臺灣ニ於ケルモノ本船航海中ニ生シタルモノ船卸後受入前ノ間ニ生シタルモノ		斤數	斤數	種別	斤數	斤數	斤數	斤數
	鹽													

- 備考
- 一 兩月ニ涉リ受入レタルモノハ月毎ニ區分記入シ各通ヲ提出スヘシ
 - 二 汚損及濕潤鹽ノ記載ハ受入鹽欄ニ記載シタル數量ヲ更ニ細記スルモノトス
 - 三 其ノ他欄ハ第三號書式備考二ト同様記載スヘシ
 - 四 流失鹽ニシテ臺灣總督府專賣局ノ證明アルモノハ移入鹽證明書記載斤數ヨリ控除スヘシ
- 第五號書式

「アルカリ」工業用(移輸出用)鹽賣渡通知書

年 月 日

何支局長(何支局何出張所長)

臺灣總督府專賣局長宛

左記ノ鹽何用トシテ賣渡候ニ付此段及御通知候也

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

- 一 鹽ノ品質及數量
- 二 本船渡又ハ倉入ノ區分
- 三 受入及賣渡月日
- 四 移入船名及地名
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

第六號書式

〔何〕月分「アルカリ」工業用鹽供給高報告

年 月 日

何 支 局 (何支局)
(何出張所)

供給鹽ノ移入 取扱者 氏 名	前月末日ニ於ケル「アルカリ」 工業々者手持見込數量	本月份供給數量	合	計	本月份使用數量	翌月へ持越數
	斤	斤		斤	斤	斤
計						

備考

移輸入取扱人毎ニ區分シ難キ事項ハ合計ニテ記載スヘシ

歐洲戰亂ノ爲醫藥及工業上ノ藥品ノ輸入杜絶スルニ至リ内地製品ヲ以テ之カ供給ヲ計ラムトスルニ當リ鹽ヲ原料ト爲セル藥品ニ在リテハ原料價格不廉ノ爲實現困難ナルヨリ製藥用鹽ハ「アルカリ」工業用品トシテ同様低價賣下ヲ要求シ東京及大阪製藥同業組合ヨリ大藏大臣ニ請願スルアリ内務省開催藥業調査全農商務省開催化學調査會等ニ在リテモ其ノ希望ヲ翹フルニ至リシ爲之ヲ保護スルコトトナシ臺灣總督府專賣局ニ協議シ特別用鹽規則制定ニ於テ化學

の製藥用鹽ニ付テモ特別定價賣渡ノコトニ改正ヲ加ヘタリ

甲第二二七號長官達(大正五年八月八日)

大正五年一月二十四日達甲第一四一號臺灣鹽移、輸入及賣渡事務取扱細則中「アルカリ工業」ヲ「化學的藥品製造」ニ、第十四條中「濕潤鹽ニシテ前項ニ該當セサルモノ、」ヲ「濕潤鹽ニシテ前項ニ該當セサルモノノ賣渡價格ハ其ノ鹽ノ購買價格ニ原品質ノ收入率ヲ加算シ」ニ、專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則」ヲ「特別用鹽規則」ニ改メ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

「アルカリ」工業用鹽ハ臺灣鹽業株式會社及大日本鹽業株式會社ヲシテ移輸入セシメシモ上記會社ノ移輸入價格ヨリ低廉ニ移輸入スルモノアルトキハ之ヲ阻止セサル趣旨ニ於テ斯業保護ノ爲「アルカリ」工業者ノ自用ニ限り移輸入ヲ許可スルコトトシ其ノ取扱方ヲ左ノ如ク定メタリ

甲第三二八五號部長通牒(大正六年十月十五日)

「アルカリ」工業用鹽ニ付テハ從來臺灣、大日本ノ兩鹽業株式會社ニ臺灣鹽(若ハ青島鹽)ノ移、輸入ヲ命シ之カ供給ヲ爲サシメ居リ候處近來「アルカリ」工業會社ニ於テ原料鹽ノ自己輸入許可ヲ希望スルモノ有之現時ノ如ク時局ノ爲海運界ハ異常ナル變調ヲ來シ運賃ノ騰貴激甚ノ時期ニ際シ移輸入取扱人ヲシテ定期ニ一定數量ノ移、輸入ヲ爲サシムル現行制度トシテハ現在ノ價格以下ニ於テ移、輸入セシムルコトハ至難ニ有之然ルニ「アルカリ」工業者カ船腹若ハ傭船等ノ都合ニヨリ偶々幾分ニテモ低廉ナル運賃ヲ以テ自家用原料鹽ヲ移、輸入シ得ルモノトセハ此ノ際之ヲ許可シ幾分ニテモ低價ナル鹽ヲ當業者ニ供給スルコトハ、斯業保護獎勵ノ本來ノ趣旨ニ副フモノナルニ依リ當分ノ内左記條件ニ適合スルモノニ限り「アルカリ」工業者ヨリ原料鹽ノ自己輸入取扱ヲ願出テタルモノノ對シ特ニ之ヲ許可スルコトニ省議決定相成リ候條速ニ便宜本趣旨ヲ當業者ニ通達置相成度若之カ取扱方ヲ希望スルモノアルトキハ輸入セムトスル理由其ノ鹽ノ產地、種類、品質、數量、(年度内輸入スヘキ數量及其ノ算出基礎ヲ明ニシ自己輸入地、其ノ到着價格ノ費用ヲ細別コト)鹽ノ仕入及運送ノ方法等ヲ記載シタル調書ヲ添附シ其ノ鹽ノ輸入許可申請書ヲ提出セシメ進達相成度

左記(許可條件)

- 一 輸入鹽ノ價格ハ現ニ「アルカリ」工業者カ現在ノ移輸入取扱人タル大日本、臺灣兩鹽業株式會社ヨリ買受クル價格ヨリ低價ナルヘキコト
- 二 輸入シタル鹽ハ特別定價ニテ即時全部ヲ買受クヘキ義務アルコト
- 三 前項ニ依リ買受ケタル鹽ハ自己製造ノ「アルカリ」工業用ニ供スルノ外之ヲ他ノ目的ニ使用セサルコト但シ政府ノ許可ヲ受ケ

鹽專賣 鹽ノ移輸入 移輸入規程

タル場合ニ限リ「アルカリ」工業用ニ供スル者ニ讓渡スルハ此ノ限リニ在ラス此ノ場合ニ於テハ讓受人ノ連署ヲ要スルコト
 四 輸入及賣渡命令期間ハ會計年度ヲ限リ必要ニ應ジ命令ヲ繼續スルトキハ一箇年毎ニ更新スルコト
 尙本件ノ出願アリタルトキハ其ノ輸入命令以前ニ於テ豫メ從來ノ輸入取扱人タル大日本、臺灣兩鹽業株建會社ニ對シ自己輸入者カ輸入セムトスル鹽ト同一ノ品質、同分量ノ鹽ヲ同一ノ價格ヲ以テ供給シ得ルヤ否ヤヲ質シ之カ輸入取扱ヲ肯セサル場合ニ於テ初メテ許可ヲ與フル管ニ有之候

臺關鹽一回ノ賣渡數量及其ノ買受人一日ノ引取數量ハ一定ノ制限ヲ定メアルモ内地鹽ノ補足トシテ移輸入地以外ニ
 回送シ賣渡スルニ至リタルヲ以テ其ノ賣渡ニ限リ輸移入地以外ノ地ニテハ内地鹽同様數量ニ制限ヲ付セサルコトト爲
 セリ

甲第四〇〇三號部長通牒(大正六年十二月十四日)

臺關鹽一同ノ賣渡數量並其ノ買受人ニ於ケル一日ノ引取數量ニ關シテハ大正五年一月二十四日長官達甲第一四一號臺關鹽移輸入及賣渡事務取扱細則第十五條ニ依リ取扱ハルヘキ管ニ有之候モ今回内地鹽ノ補足トシテ臺關鹽ヲ移輸入地以外ニ回送シ之カ賣渡ヲ開始シタルニ付テハ右賣渡期間中門司、神戸、半田、横濱以外ノ地ニ限リ内地鹽同様其ノ數量ニ何等制限ヲ付セサルコトニ御取扱相成度

特別用途ニ人造色素製造用ヲ加フルニ至リ細則中左ノ改正ヲ爲セリ

甲第五六六號長官達(大正七年二月十八日)

大正五年一月二十四日甲第一四一號臺關鹽移輸入及賣渡事務取扱細則中左ノ通改正シ大正七年二月二十日ヨリ之ヲ施行ス
 第十二條、第十三條、第二十條及第四號乃至第六號書式中「化學的藥品」ヲ「化學的藥品、人造色素」ニ改ム

青島鹽ノ濕潤鹽低減價格決定ハ關東州鹽ニ準スルコトト爲セリ

甲第二一七八號部長通牒(大正七年五月三十日)

青島鹽輸入命令書ノ條項ニ基キ濕潤甚シキ鹽ニ對シ仕拂金額ヲ低減スル場合ニ於ケル水分限度ハ一〇%トシ臺關鹽移輸入及賣渡事務取扱細則第十四條ニ準シ購買價格ヲ決定候様御取扱相成度追テ再製鹽ニ對スル水分限度ニ付テハ追テ決定通牒ニ及フヘク又

自己輸入ニ係ル青島鹽ニ付テハ本文ノ適用無之義ト御了承相成度

移輸入鹽ハ移輸入取扱人ニ對シ移輸入ト同時ニ賣渡シタリシモ之ヲ改メ單ニ移輸入命令ニ止ムルコトトナシタルヲ以テ其ノ受人ハ總テ實量計量ト爲スコトニ復シ青島鹽等ノ輸入取扱方ヲ加ヘ收納賣渡事務取扱手續ヲ改正シ大正八年四月一日ヨリ施行セリ

甲第九八八號長官達(大正八年三月十七日)

(第二章第一節參看)

移輸入鹽ハ總テ實量計量ヲ以テ受渡スルコトニ變更シタルモ元賣捌人カ倉入數量ヲ以テ一倉庫全部ヲ買受クル場合ニ在リテハ特ニ實量計量ヲ爲ササルモ差支ヘナキコトニ取扱方ヲ指示セリ(大正八年六月甲第二六九七號指示對名古屋支局長)

移輸入鹽ニ對シテモ八十斤呎賣ヲ認メ其ノ包裝ハ内地鹽八十斤呎ニ準スルコトニ指示セリ(大正八年十月甲第四四五九號指示對岡山支局長)

關東州鹽及青島鹽ノ輸入手續ニ關シ收納賣渡事務取扱手續中左ノ改正ヲ爲セリ

甲第二一六八號長官達(大正九年五月十日)

(第二章第一節參看)

移輸入鹽實量受入ノ實行ニ伴ヒ移輸入及賣渡事務取扱細則ヲ改正セルコト左ノ如シ

甲第二一六九號長官達(大正九年五月十日)

鹽輸移入及賣渡事務取扱細則別紙ノ通相定メ大正九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正五年一月二十四日達甲第一四一號ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

鹽輸移入及賣渡事務取扱細則

第一條 鹽ノ輸移入及賣渡事務ハ鹽收納賣渡事務取扱手續ニ據ルノ外本細則ニ據リ取扱フヘシ

第二條 輸移入鹽積載船入港シタルトキハ其ノ船名積載鹽ノ種類、數量及其ノ取扱人名ヲ即日本局ニ報告スヘシ

第三條 輸移入鹽ノ受入及賣渡ハ船側受渡又ハ倉庫受渡ナルトヲ問ハス凡テ實量計量ノ上之ヲナスヘシ但シ包裝鹽ノ賣渡ニ在リテハ内地鹽ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第四條 前條ニ依ル鹽ノ實量計量ハ左記ノ方法ニ依リ之ヲ行フヘシ

一 散鹽受渡

(イ) 船側受渡ノモノ

一定ノ容器ニテ搬出セシメ其ノ搬出總度數ヲ標準斤量ニ乘シ其ノ數量ヲ算定スヘシ

(ロ) 倉入竝倉出ノモノ

標準斤量ハ一日一回船艙毎ニ用ヒタル各容器ニ鹽ヲ入實シ斗概ヲ正確ニ使用シ之ヲ秤量シテ各船艙毎ニ平均シテ之ヲ定ムヘシ

一定ノ容器ニテ指定ノ場所ニ運搬セシメ其ノ運搬總度數ヲ標準斤量ニ乘シ其ノ數量ヲ算定スヘシ

(ハ) 前號倉入ヲナス場合ニ於テ傳票使用ヲ便トスル箇所ニ在リテハ第一號書式ノ鹽船卸傳票ヲ使用シ第二號書式ニ依リ集計スヘシ

二 包裝鹽受入

(イ) 包裝鹽ハ同一等級同一包裝毎ニ全部ノ重量ヲ秤量シ各包裝トモ一定ノ實量アリタルトキハ之カ受入ヲナスヘシ但シ包裝完

全ニシテ各包裝量目減耗ノ事實ナシト認メタルトキハ百ニ付三ノ割合(三十以上ニ上ルトキハ三十三止ム)ヲ以テ摘出シ解裝

ノ上之ヲ秤量シ其ノ平均一包裝當量目カ定量ナルトキハ包裝箇數ヲ調査シ之ヲ其ノ定量ニ乘シ鹽ノ數量ヲ定ムルコトヲ得

(ロ) 前號ノ場合ニ於テ其ノ平均一包裝ノ量目カ定量以上一斤未滿ナルトキハ之ヲ認容シ定量未滿ナルトキハ輸移入取扱人ヲ

シテ全部各定量ニ改裝セシメタル上受入ヲナスヘシ

第五條 汚損、濕潤鹽ハ左記ノ方法ニ依リ受入ヲナスヘシ

一 汚損鹽

(イ) 上等鹽又ハ上等粉碎鹽カ汚損シ色相竝等鹽又ハ竝等粉碎鹽ト同一程度ニ下リタリト認ムルモノハ竝等鹽又ハ竝等粉碎鹽

トシテ受入ヲナスヘシ

トシテ受入ヲナスヘシ

(口) 上等鹽、竝等鹽、粉碎鹽、洗滌鹽又ハ再製鹽カ汚損シ竝等鹽、竝等粉碎鹽、洗滌鹽又ハ再製鹽標本以下ニ下リタリト認ムルモノハ等外鹽、等外粉碎鹽、粗惡洗滌鹽、粗惡再製鹽又ハ掃寄鹽トシテ受入相當購買價格ヲ決定スヘシ

二 濕潤鹽

(イ) 左記水分限度以上ノ水分ヲ含有スルモノハ濕潤鹽トシテ受入ヲナスヘシ

- 臺灣鹽上等 一四%
- 關東州鹽 一〇%
- 青島鹽 一〇%
- 威海衛鹽 一〇%
- 支那鹽 一〇%
- 安南鹽 一二%
- 埃及鹽 八%
- 西班牙鹽 八%

(ロ) 水分ノ限度ハ各船艙毎ニ檢定シ水分限度超過量一%又ハ其ノ端數毎ニ其ノ購買價格百分ノ一ヲ低減シテ購買價格ヲ決定スヘシ

第六條 他ノ地ニ輸移入スヘキ鹽ヲ一船舶ニ積載シ來リタルモノニシテ其ノ地ニ輸移入スヘキ鹽ノ受渡ヲ了シタルトキハ第三號書式ニ據リ直ニ其ノ事蹟ヲ次ニ輸移入スヘキ地ノ專賣官署ニ通知スヘシ但シ本通知ハ同船長ヲシテ送致セシムルモ妨ナシ

第七條 輸移入鹽ノ受入ヲ了シタルトキハ第四號書式ニ據リ直ニ本局ニ報告スルト共ニ種類、等級ノ異ナル毎ニ中庸ト認ムヘキ鹽約一斤ヲ採取シ本局ニ送附スヘシ

第八條 濕潤鹽受入後品質上進シ原品質ニ復歸シタルモノノ賣渡價格ハ現在ノ品質ニ依リ決定スヘシ

濕潤鹽ニシテ前項ニ該當セサルモノノ賣渡價格ハ原品質ノ購買價格低減率ト同一率ヲ以テ算出シタル金額ヲ低減シ等外鹽、等外粉碎鹽、粗惡洗滌鹽又ハ粗惡再製鹽ノ賣渡價格ハ其ノ鹽ノ購買價格ニ竝等鹽、竝等粉碎鹽、洗滌鹽又ハ再製鹽ノ收入率ヲ加算シ決定スヘシ

掃寄鹽ノ賣渡價格ハ其ノ鹽ノ購買價格ニ竝等鹽ノ收入率ヲ加算シ決定スヘシ

濕潤鹽ニシテ輸移出用又ハ特別用鹽規則第一條ノ用途ニ使用スルモノノ賣渡價格ハ原品質ノ賣渡價格ヨリ其ノ鹽ノ購買價格低減率ト同一率ヲ以テ算出シタル金額ヲ控除シテ之ヲ決定シ汚損鹽又ハ掃寄鹽ニシテ同上ノ用途ニ使用スルモノハ其ノ鹽ノ購買

鹽專賣 鹽ノ輸移入 輸移入規程

價格ニ相當スル金額ニテ賣渡スヘシ

第九條 一旦普通用トシテ受入レタル臺關鹽ヲ更ニ化學的藥品、人造色素製造用又ハ輸移出用トシテ賣渡シタルトキハ其ノ鹽ノ購買價額ト化學的藥品、人造色素製造用又ハ輸移出用鹽トシテノ購買價額トノ差額ヲ速ニ輸移入取扱人ヨリ政府ニ返納セシメ雜收入トシテ整理スヘシ

第十條 輸移入取扱人ニ於テ輸移入及賣渡命令ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリタル場合ニ於テ損害賠償金ノ徵收ヲ必要トスルトキハ當該支局長ヨリ精細其ノ事由ヲ具シ稟申スヘシ

第十一條 輸移入及賣渡命令書ニ依リ輸移入取扱人ヨリ輸移入地ニ於ケル代理人ノ申告アリタルトキ又ハ賠償金及過怠金ノ保證トシテ現金又ハ國債證券ノ提供アリタルトキハ當該專賣官署ハ直ニ本局及關係專賣支局ヘ通報スヘシ其ノ變更又ハ解除アリタルトキ亦同シ

第十二條 專賣支局ハ化學的藥品、人造色素製造業者ニ就キ該用途ニ供スル鹽ノ買受數量、使用數量及現在數量ヲ調査シ第六號書式ニ據リ毎月分ヲ翌月十日迄ニ本局ニ報告スヘシ

第十三條 輸移入事務ヲ取扱フ出張所ヨリ直接本局ヘ本細則ノ報告ヲナス場合ハ同時ニ其ノ謄本ヲ所轄專賣支局ニ提出スヘシ

第十四條 鹽ノ受渡ニ關シテハ專賣取締規定ニ從ヒ適宜ノ監視ヲ爲スヘキハ勿論左記各項ニ付テハ特ニ注意シ尙陸揚ヲ終ラサル鹽ヲ積込ミタル本船又ハ舢船ニ對シ不取締ト認メタルトキハ相當封印ヲ施スモ妨ナシ但シ他ノ地ニ輸移入スヘキ鹽ヲ積載シタル本船ニ對シ封印ヲ爲シタルトキハ第三號書式第五「船卸」ニ付テ特ニ注意スヘキ事項欄ニ封印ノ箇所等ヲ記載スヘシ

- 一 鹽產地ニ於ケル鹽船積ノ狀況
- 二 本船寄港地、積込貨物及其ノ積卸地
- 三 臺灣總督府專賣局、關東廳民政署又ハ青島守備軍民政署ヨリ通知事項アルトキハ其ノ事項トノ對照
- 四 航海中ニ於ケル積載鹽損害ノ有無
- 五 輸移入積載鹽カ鹽賣渡書、鹽船積證明書又ハ原產地證明書ノ記載數量ニ對シ異狀ノ有無

第一號書式

號	第	「何々」鹽	船	卸	傳	票	號	木	船	名	月	日
												丸

四 本船當地出港ノ日時
五 船卸ニ付テ特ニ注意ヲ要スル事項

備考

其ノ他欄ニハ粉砕鹽、掃寄鹽其ノ他ノ種類別ニ區分シ其ノ數量ヲ記載スヘシ

第四號書式

年 月 日

「何々」鹽受入報告書

何支局(何支局何出張所)

證明高對 受入高差	證明高對 引増減	斤數		鹽總		受入		移輸入鹽證明書記載斤數	事	受入	船卸	次ニ輪移入スヘキ地	輪移入地	輪移入船名
		總計	計	船側受入	倉庫受入	上等	並等							

鹽專賣 鹽ノ輪移入 輪移入規程

他ノ其鹽潤濕鹽外等			
事	項	斤	數
	購買價格		百斤當
等	外鹽	受入	
濕	潤鹽	受入	
粗	惡再製鹽	受入	
異	等級又ハ異種類ノ鹽ヲ		
混	合セルモノノ受入		
掃	寄鹽		
鹽 失 亡			
事	由	鹽ノ種別	斤
			數
	積地ニ於ケルモノ		
	本船航海中ニ生シタルモノ		
	船卸後受入前ノ間ニ生シタルモノ		

備考

- 一 兩月ニ涉リ受入レタルモノハ月毎ニ區分記入シ後月分ニテ總計ヲ整理シ前月分摘要欄ニハ「翌月ニ引續キ受入」後月分摘要欄ニハ「前月分受入何斤」ト記入シ尙後月分證明書記載斤數ノ欄ハ朱書スヘシ
- 二 一地ニ輸移入ノ目的ヲ以テ輸移入鹽證明書ノ交付ヲ受ケタル鹽ヲ二地以上ニ輸移入シタル場合ハ第一號ニ準シ整理スヘシ
- 三 上等鹽、並等鹽カ汚損シ並等鹽以下ニ下リタルモノハ等外鹽トシテ整理シ、粉碎鹽、濕潤鹽ハ同一等級欄ニ記入シ數量ノ上ニ(粉)(濕)ノ略字ヲ附スヘシ
- 四 其ノ他欄ニハ粗惡再製鹽、粉碎洗滌鹽、掃寄鹽等ヲ記入シ凡テ適當ノ略字ヲ數量ノ上ニ附スヘシ
- 五 等外鹽濕潤鹽其ノ他ノ記載ハ受入鹽欄ニ記載シタル數量ヲ更ニ細記スルモノトス
- 六 流失鹽ニシテ積地官署ノ證明アルモノハ輸移入證明書記載斤數ヨリ控除スヘシ

第五號書式

大正 年 月 日

「何」月分化學的藥品、人造色素製造用鹽ニ關スル報告

何 支 局

所屬別	區分		前月越高	本月供給	合計	本月使用	缺	減	翌月(持)
	化學的藥品製造用	人造色素製造用							
直轄	小計								
	化學的藥品製造用								
何出張所	小計								
	人造色素用								
合計									

甲第二九六一號部長通牒(大正九年六月八日)
 今回鹽輸入及賣渡事務取扱細則制定六月一日ヨリ施行相成候處之カ取扱上左記事項御注意相成度

記

一 標準斤量ニ關スルコト

- (イ) 細則第四條第一項第一號(イ)船側受渡ノ場合ニ於ケル標準斤量調査ハ斗概ヲ正確ニ使用シ秤量スルコトナリ居レルモ其ノ一般ノ搬出ニ就テハ何等斯クノ如キ文字ナキタメ或ハ自然其ノ方法ニ出ツルノ要ナキカ如ク解セラルル尙アラムモ此ノ場合ニ於テモ同様ニ斗概ヲ使用スヘキ義ニ付注意セラレタシ

鹽專賣 鹽ノ輸入 輸移入規程

(ロ) 同條第一項第一號(カ)倉入竝倉出ノ場合ニ於ケル標準斤量ハ從來ノ取扱ニ比シ其ノ秤量度數ヲ減少シタルカ右ハ量目調査ノ正鵠ヲ期シ得ル限リ取扱ヲ簡ニシ一面荷役能率ノ増進ヲ圖ラムトスルノ主旨ニ外ナラサルヲ以テ萬一容器一定ノ困難ナル場合又ハ取扱人夫各人毎ノ肩擔量不同ニシテ到底規定ノ標準量調査ニテハ數量ノ的確ヲ期シ難シト認ムル場合ニ於テハ大正三年四月二十八日附甲第一八五三號依命通牒ノ趣旨ニ依リ適宜標準斤量調査度數ヲ増加スルハ勿論從來ノ如ク各搬出入人夫毎ニ標準斤量ヲ調査シ若ハ其ノ全部ノ秤量ヲナスモ差支無之要ハ數量ノ確實荷役ノ進捗ヲ圖ルコトニ留意セラレタシ

二 汚損鹽購買價格ニ關スルコト

本年度ニ於テハ優良鹽輸入獎勵、劣惡鹽輸入防止ノ趣旨ニ依リ關東州鹽及青島鹽ハ現品質ノ差等割合以上ニ其ノ購買價格ニ格段ノ値開ヲ存シタル次第ニ付細則第五條第一項第一號(ロ)規定ニ基キ支局ニ於テ決定スヘキ等外鹽、等外粉碎鹽、粗惡洗滌鹽又ハ粗惡再製鹽ノ購買價格モ亦右趣旨ニ依リ取扱相成度尤モ青島上等鹽又ハ竝等鹽ニシテ汚損シ竝等鹽標本以下ニ下リ等外鹽トシテ取扱フ場合其ノ色相カ本年度ニ於テ特ニ輸入ヲ認メタル等外鹽標本(標本ハ別途送付ス)以上ノモノナルトキハ該鹽ノ購買價格ヲ適用スヘク若シ該等外鹽標本ニ達セサルモノナルトキハ支局限リ適宜決定セラレタシ

三 濕潤鹽及汚損鹽ノ賣渡價格ニ關スルコト

細則第八條中濕潤鹽及汚損鹽ノ賣渡價格算定ノ場合ニ於ケル「其ノ鹽ノ購買價格」トアルハ凡テ賣渡當時ニ於ケル其ノ鹽ノ品質ニ相當スル購買價格ヲ指稱スヘキ義ト了知セラレタシ尙濕潤鹽ノ賣渡價格ニ關シ「其ノ鹽ノ購買價格低減率ト同一率ヲ以テ算出シタル金額云々」トアルハ購買價格ノ低減率ヲ原品質ノ賣渡價格ニ乘シテ算出シタル金額ヲ原品質ノ賣渡價格ヨリ控除シテ決定スヘキ義ニ付注意セラレタシ

濕潤鹽ノ標準中獨逸鹽ヲ追加ス

甲第四三〇八號長官達(大正九年九月十五日)

大正九年五月十日附甲第二一六九號鹽輸入及賣渡事務取扱細則中左ノ通改正ス

第五條第一項第二號(イ)西班牙鹽ノ次ニ「獨逸鹽」ニ「」ヲ加フ

關東州鹽及青島鹽ノ品質色相著シク不良ナル場合ニ在リテハ仕拂金額ヲ相當ニ低減スルコトトシ其ノ場合ニ於ケル鹽ノ受入及賣渡方ヲ定ム

甲第五〇二五號部長通牒(大正九年十月二十九日)

今後輸入ニ係ル關東州鹽及青島鹽ニシテ其ノ品質色相見本鹽ニ照シ著シク不良ナル場合ハ相當仕拂金額ヲ低減スヘキ旨今般變更ノ輸入命令書ニ附加相成候處右條項適用ノ場合ニ於ケル鹽ノ受入並賣渡方ハ鹽輸入及賣渡事務取扱細則第五條及同第八條所定汚損鹽ノ例ニ準シ取扱相成度尤モ等外鹽、等外粉碎鹽、粗惡洗滌鹽又ハ粗惡再製鹽トシテ受入ヲ爲スヘキ場合ノ購買價格ハ當局ノ指揮ヲ受ケ決定スル義ト御了知相成度尙此ノ場合ハ當該鹽ノ見本ヲ提出シ且低減額ニ關スル意見ヲ稟申書ニ附記セラレ度

殖民地鹽ノ受入通知ハ本局ニ於テ之ヲ關係官署ニ發シ來リシモ青島鹽ニ在リテハ同民政部ヨリノ要求ニ依リ輸入地局所ヨリ直接通知スルコトト爲セリ

甲第五三四九號ノ二部長通牒(大正九年十一月十九日)

從來鹽ヲ輸入シタル場合ハ各支局ヨリ提出ノ鹽受入報告書ニ依リ本局ヨリ各關係殖民地官署ニ其ノ受入數量ヲ通知致居候處今般青島民政部ヨリ事務進捗上輸入地支局若ハ出張所ヨリ直接通知有之度旨申出候ニ付テハ鹽受入報告書ヲ本局ニ送付スルト同時ニ別紙様式ニ準シ十二月一日以後受入終了ノ分ヨリ青島守備軍民政部及民政部各別ニ青島鹽受入數量御通知相成度尤モ兩月ニ亙リ受入ルル鹽ニ對シテハ受入終了後同一ノ原產地證明書記載斤數ノ鹽ヲ二地以上ニ輸入スル場合(例淺草管内ニテ横濱、深川、南千住等ニ受ケ入ルルカ如シ)管轄支局又ハ最後ニ受入終了ノ支局若ハ出張所ニテ全部ヲ總括シテ御通知相成度尙臺灣及關東州鹽ノ受入通知ハ拓殖局經由ノ必要有之候ニ付從來通當局ヨリ通知可致候條爲念申添候

輸入鹽ノ計量並取扱ニ關シ左記注意ヲ爲セリ(大正十一年四月支支部局長會議)

九 輸入鹽實量計量ニ關スル件

輸入散鹽受渡ノ場合ニ於ケル鹽ノ實量計量方ニ付テハ曾テ注意ヲ促シ置キタル次第ナルモ其ノ受渡數量ノ多量且敏速ナルヲ要スル爲往々其ノ取扱並計算方粗策ニ流レムトスル向アリ之カ計算ノ正否ハ官民共ニ利害ノ關係尠カラス殊ニ貯藏缺減量ノ多大ナル事績ニ鑑ミ自今一層留意ノ上搬出入容器ヲ一定シ其ノ入實量ヲ均等ナラシムルハ勿論標準斤量調査ノ公正且計算ニ過誤ナキヲ期セラルヘシ但シ受渡數量ノ正鵠ヲ圖ルニノミ急ニシテ他面荷役ノ進捗ヲ度外視スルカ如キコトナキ様考慮ノ上實行セラレヘシ

十 工業用及輸入用ニ供スル關東州鹽取扱ニ關スル件

鹽專賣 鹽ノ輸入 輸入規程

内地工業保護及輸出貿易獎勵ノ主旨ニ基キ化學的藥品、人造色素製造用及輸移出用ニ供スル臺灣鹽及關東州鹽ハ他ノ特別用途ニ供スルモノニ比シ各一錢(但シ關東州上等鹽ニ限リ二錢)宛低價ニ購買供給シ若普通用トシテ受入後前記用途ニ賣渡シタル場合ニハ當該輸移入取扱人ヲシテ其ノ差額ヲ返納セシムルコトトナシ居レルカ近時關東州鹽ハ其ノ輸入取扱人ヲ増設シ數人トナシタルヲ以テ右差額返納ニ關シテハ特段ノ注意ヲ拂ヒ鹽ノ貯藏、拂出、回送等ニ際シテハ相當之カ區分ヲ明ニシ取扱上過誤ナキヲ期セラルヘシト爲セリ

甲第二二二一號部長通牒(大正十一年六月六日)

化學工業用鹽ノ供給ニ付テハ從來政府ハ種々ノ特典ヲ與ヘ居レルカ今回更ニ斯業保護ノ精神ヲ貫徹スヘク一般自己輸入業者ニ對シテモ門ヨリ内地各港間運賃ハ政府ニ於テ之ヲ負擔スルコトニ省議決定相成候條御了知置相成度

青島守備軍撤退ニ至レルモ同地產鹽ノ受入通知ハ引續キ青島帝國總領事ニ發送スルコトト爲セリ(大正十二年二月甲第三八〇號通牒)

輸移入鹽實量計算ニ關シ左記注意ヲ爲セリ(大正十二年六月支部局長會議)

十 輸移入鹽實量計算ニ關スル件

輸移入鹽受渡ノ場合ニ於ケル鹽ノ實量計算方ノ正否ハ官民共ニ利害ノ關係渺カラサルヲ以テ從來屢注意ヲ促シ置キタル次第ナルモ未タ其ノ取扱並計量方更角粗漏ニ流レ間々不當ノ受渡ニ至ラムトスル嫌アリ甚遺憾ノ次第ニ付自今一層部下ヲ督勵シ之カ取扱並計算ノ公正ヲ期セラルヘシ又青島鹽ハ山東還付條約ニ基キ本年度以降ノ輸入取扱ハ支那側ノ手ニ移ルヘキニ依リ萬一件受渡數量ノ正否ニ關シ輸入業者ノ不信ヲ招クカ如キコトアリテハ當ニ當局ノ威信ヲ失墜スルニ止ラス延テ對外交渉上ニモ惡影響ヲ及ホスコトトナルヘキニ付取扱上深ク留意セラルヘシ

次ニ從來内地移入ノ臺灣鹽ハ輸送中ノ自然減耗補填ノ爲臺灣總督府專賣局ニ於テ賣渡ノ際百斤ニ付十五斤ノ補足鹽ヲ付シ居タルモ此ノ補足數量ハ既往ノ移入實蹟ニ徴シ稍過大ナリト認メ本年度ニ於テハ十三斤ニ減少セシメタルニ付受入上了知シ置カルヘシ